## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	ли	校長	右			所在地			
麻生情報ビジネス	専門学校	平成25年4月	引日	瀧口	博俊	〒812-0016 福岡県福岡	市博多区博多駅南				
設置者名		設立認可年	月日	代表	者名		(電話) 092-415-2	2291 所在地			
学校法人麻生	E塾	昭和26年3月	12日	理事長	麻生 健	(住所) 福	20-0018 屆県飯塚市芳雄田	T3-83			
分野	意義	2定課程名		認定学科名			)48-25-5999 士認定年度	高度専門士認	定年度	職業実践専	専門課程認定年度
商業実務	商業	実務専門課程	ビジネ	スエキスパ	一卜科	平成30	0(2018)年度	-		平成2	5(2013)年度
学科の目的		般的に使用されてい につける。社会で情						して必要なプレゼンラ	ーション・	インストラクショ	ン・コミュニケーショ
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		資格:マイクロソフト 下による中途退学					Excel Expert, Word	l Expert、ITパスポー	ト試験ほか		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	要な総授業 単位数	時数又は総	講	義	演習	実習	9	実験	実技
2	昼	※単位時間、単位いずれ	ı –	・単位時間	_	単位時間	一 単位時間	一 単位時間	-	- 単位時間	一 単位時間
年		かに記入		2 単位		単位	49 単位	0 単位		0 単位	0 単位
生徒総定員	生徒実	員(A) 留学生	主数(生徒実員の	の内数)(B)	留学生割	合 <b>(B/A)</b>					
60 人	53 /		1	人	2	%					
	■卒業者数 ■就職希望		:	34 32		<del></del>					
	■就職者数	汝(E)		31		Ţ.					
	■地元就職 ■就職率(	(E/D)		48 97		<u>人</u>					
	■就職者に	こ占める地元就職者	の割合 (F/E	E) 48		%					
	■卒業者に	占める就職者の割	合 (E/C)			<u> </u>					
±4100 //	■進学者数	数		91		<u>%</u> 人					
就職等の状況	■その他		* 4 10 4 4			/L					
	・面接指導 等	(オンライン・対面	、悮擬企業	ミ田接の実施	也、腹歴書	TF以指導					
		就職活動継続(留									
	(令和 ■ <b>ナ</b> か辞贈		者に関する令	·和5年5月1	日時点の作	青報)					
	■ 土 仏 税 明 (令和4年度4	戦先、業界等 <sup>医業生)</sup>									
		鹿島建設㈱、富士	通ISサービ	[ス株]							
	旭化成㈱、	鹿島建設㈱、富士		ごス(株)			<b>#</b>				
第三者による	旭化成㈱、 ■民間の評		三者評価:	: ス(株)			無				
第三者による 学校評価	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第	三者評価:		受審年月:	_	評	価結果を掲載した	_		
学校評価	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、	鹿島建設㈱、富士平価機関等から第 例えば以下について	三者評価:		受審年月:	_	評	価結果を掲載した ニムページURL	_		
学校評価 当該学科のホームページ	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、	鹿島建設㈱、富士平価機関等から第 例えば以下について	三者評価: 任意記載		受審年月:	_	評		_		
学校評価 当該学科の	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第、 例えば以下について 平価団体: 一	三者評価: 任意記載		受審年月:	-	評		-		
学校評価 当該学科のホームページ	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://asoi	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: — juku.ac.jp/abcc/ibs 時間による算定)	三者評価: 任意記載		受審年月:	-	評				
学校評価 当該学科のホームページ	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://asoi	鹿島建設㈱、富士平価機関等から第 例えば以下について 評価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs 時間による算定) 総授業時数	三者評価:任意記載	Š			評			- 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://asoi	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs 時間による算定) 総授業時数 うち企業	三者評価: 任意記載 <u>/</u> 等と連携した	- た実験・実習	・実技の摂		評			- 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://asoi	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 / 等と連携した 等と連携した	Š	・実技の摂		評			- 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://asoi	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 等と連携した 等と連携した 授業時数	た実験・実習を演習の授業	・実技の授 時数	受業時数	<b>詳</b>			<ul><li>単位時間</li><li>単位時間</li><li>単位時間</li></ul>	
学校評価 当該学科のホームページ	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://asoi	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等	た実験・実習を演習の授業	・実技の授 時数 必修の実験	<b>受業時数</b> ・実習・実技	<b>詳</b>			<ul><li>単位時間</li><li>単位時間</li><li>単位時間</li><li>単位時間</li></ul>	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	旭化成㈱、 ■民間の部 ※有の場合、 部 https://aso	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs. 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習た演習の授業	・実技の授 時数 必修の実験 必修の演習	受業時数 ・実習・実技 の授業時数	<b>詳</b>			- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 ・ https://aso	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs. 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習を演習の授業	・実技の授 時数 必修の実験 必修の演習	受業時数 ・実習・実技 の授業時数	<b>詳</b>			<ul><li>単位時間</li><li>単位時間</li><li>単位時間</li><li>単位時間</li></ul>	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://aso	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第、例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs. 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習た演習の授業	・実技の授 時数 必修の実験 必修の演習	受業時数 ・実習・実技 の授業時数	<b>詳</b>			- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://aso (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs. 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習た演習の授業	・実技の授 時数 必修の実験 必修の演習	受業時数 ・実習・実技 の授業時数	<b>詳</b>			- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://aso (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第、例えば以下について 例えば以下について 平価団体: — iuku.ac.jp/abcc/ibs. 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定)	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 きと連携し	た実験・実習た演習の授業	・実技の技時数 必修の実験 必修の実験 ンシップの	受業時数 &・実習・実技 の授業時数 )授業時数)	<b>詳</b>		11	- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://aso (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第、例えば以下について 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs. 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定)	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 きと連携した 等と連携した 等と連携した を表現した。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	た実験・実習た演習の授業等と連携した。	・実技の哲 時数 必修の実影 必修の演習 ンシップの	受業時数 &・実習・実技 の授業時数 )授業時数)	<b>詳</b>		11	- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://aso (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs. 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 きと連携した 等と連携した 等と連携した を表現した。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	た実験・実習を演習の授業等と連携したようと連携したしたインター	・実技の哲 時数 必修の実影 必修の演習 ンシップの	受業時数 &・実習・実技 の授業時数 )授業時数)	<b>詳</b>		11	- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 0 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://aso (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs. 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 ま等と連携した できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	た実験・実習を演習の授業等と連携したしたインターと実験・実習を決賞の授業	・実技の哲 ・実技の哲 必修の実態 ・実技の哲 ・実技の哲 ・	受業時数 &・実習・実技 の授業時数 )授業時数)	評点		11	- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 0 単位 0 単位 2 単位	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://aso (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第 例えば以下について 平価団体: 一 iuku.ac.jp/abcc/ibs. 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 を連携した うち企業等 等と連携した うち企業等 を連携した うち企業等	た実験・実習を演習の授業等と連携したしたインターと実験・実習を決賞の授業	・実技の授助の実験の実験である。	受業時数 (*・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 受業時数 (*・実習・実技	評点		11	- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 0 単位 0 単位 2 単位 2 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://aso (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第でのでは、	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 を連携した うち企業等 等と連携した うち企業等 でを連携した。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	た実験・実習を演習の授業等と連携したインターと実験・実習の授業を実際の授業を実際の授業をと連携した	・実技の授助・実技の授助を必修の実験である。	受業時数 (*・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 受業時数 (*・実習・実技 の授業時数	評点		11	- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 0 単位 2 単位 2 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://aso (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第でのでは、	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 を連携した うち企業等 等と連携した うち企業等 でを連携した。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	た実験・実習を演習の授業等と連携したインターと実験・実習を変習の授業を変習の授業を変更の授業を変更の授業を変更がある。	・実技の授助・実技の授助を必修の実験である。	受業時数 (*・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 受業時数 (*・実習・実技 の授業時数	評点		11	- 単位時間 0 単位 2 単位 2 単位 0 単位 2 単位	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の記 ※有の場合、 https://aso (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第でのでは、	三者評価: 任意記載 等と連携した 授業時数 うち企業等 を連携した うち企業等 等と連携した うち企業等 でを連携した。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	た実験・実習を演習の授業等と連携したインターと実験・実習を変習の授業を変習の授業を変更の授業を変更の授業を変更がある。	・実技の授助・実技の授助を必修の実験である。	受業時数 (*・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 受業時数 (*・実習・実技 の授業時数	評点		11	- 単位時間 0 単位 2 単位 2 単位 0 単位 2 単位	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■ 民間の含 ※ 有の場合、 語 (A:単位)	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第で 例えば以下について 例えば以下について 例えば以下について 所間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 できる	三者評価: ほ意記載 等と連携した 等と連携数 業等 うちと連携した うちと連携した 等等等と連携した 手等と連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちと連携機の うちとは連携を うちとは またが またが またが またが またが またが またが またが	た実験・実習業・皮連携したたった実験の授業・と連携したたインターと実験の授業・大きをしたインターと大きを表したインターと大きなできません。	・実技の行時数 必修の実影の ・実技の行 ・ 実技の が ・ 実技の が ・ 実技の が ・ 実技の 変習 の 演習 の 必修の 演習 の で ・ で に おい ・ ・ で に おい ・ ・ で で に おい ・ ・ で で に おい ・ ・ で で で ・ ・ で で ・ ・ で で ・ ・ ・ ・ で で ・ ・ ・ ・ で で ・	受業時数 ・実習・実技 の授業時数 )授業時数 ・実習・実技 の授業時数 の授業時数 の授業時数	の授業時数		11	- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位 0 単位 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 0 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の語、 ※有の場合、 部 https://aso	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第での機関等から第での場合は以下について 「はku.ac.jp/abcc/ibs.」 時間による算定) 総授業時数 「うち企業 「うち企数による算定) 総授業時数 「うち企業 「うち企業を受験を対象を受験を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	三者評価: 任意記載 等と連携した。 をと連携した。 「うちな企連携した。」 「うちな企連携した。 「うちな企連携した。」 「うちな企連携した。」 「では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	た実験・実習業 た演習の授業 等と連携した したインター た実験の授業 を連携したしたインター た実際の授業 したは、あった。	・実技の授助・実技の授助の実験である。	受業時数 ・実習・実技 の授業時数 )授業時数 ・実習・実技 の授業時数 の授業時数 の授業時数	評点		11	- 単位時間 0 単位 2 単位 2 単位 0 単位 2 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	旭化成㈱、 ■民間の語、 ※有の場合、 部 https://aso	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第で 例えば以下について 不価関体: — iuku.ac.jp/abcc/bs. 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による第定) 総授業時数 うち企業 うち必修 でするの教育 でするの教育 でするの教育 の教育	三者評価: 任意記載 等と連携した。 をと連携した。 「うちな企連携した。」 「うちな企連携した。 「うちな企連携した。」 「うちな企連携した。」 「では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	た実験・実習業 た演習の授業 等と連携した したインター た実験の授業 を連携したしたインター た実際の授業 したは、あった。	・実技の授助・実技の授助の実験である。	受業時数 ・実習・実技 の授業時数 )授業時数 ・実習・実技 の授業時数 の授業時数 の授業時数	の授業時数		11	- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位 0 単位 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 0 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	加化成㈱、 ■ 民間の合、 ※ 有の場合、	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第での機関等から第での場合は以下について 「はku.ac.jp/abcc/ibs.」 時間による算定) 総授業時数 「うち企業 「うち企数による算定) 総授業時数 「うち企業 「うち企業を受験を対象を受験を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	三者評価: 日本記載 等と連携機 と で と 連携機 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	た実験・実習業 た演習の授業 等と連携した したインター た実験の授業 を連携したしたインター た実際の授業 したは、あった。	・実技の授助・実技の授助の実験である。	受業時数 後・実習・実技 の授業時数 の授業時数 を主実での授業時数 の授業時数 (専修学校	の授業時数	ボームページURL (第1号)	11	- 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位時間 - 単位 0 単位 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、Bいずれ)	旭化成㈱、 ■ 民間の合 ※ 名の場合 ・ A:単位 (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第での機関等から第での機関等から第でのです。 「juku.ac.jp/abcc/ibs.」 時間による算定) 総授業時数 「うち企業 うち必修 「うち企業 なる第定) といる第一ででは、まる第一ででで、でのでは、まる数による第一でででは、まる。またのでは、まる。またのでは、ま	三者評価: 日本記載 等と連携機としている。 一等と連携機とでは、 一等とと連携をできる。 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をは、 一等をできる。 一等をは、 一等をできる。 一等のでは、 一等の	た実験・実習業 た演習の授業 等と連携した したインター た実験の授業 を連携したしたインター た実際の授業 したは、あった。	・実技の授助・実技の授助の実験である。	受業時数 後・実習・実技 の授業時数 の授業時数 を発酵の授業時数 (専修学校 (専修学校	が の授業時数 の授業時数 設置基準第41条第1項	デームページURL 第1号) 第2号)	11	- 単位時間 0 単位 0 単位 2 単位 0 単位 2 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をのました況 (A、記入) を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記	加化成㈱、 ■ 民間の合、 ※ 名の場合、 ※ 名の場合、 (A:単位: (B:単位: (B:単位:	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第で (例えば以下について (例えば以下について (例えば以下について (例えば以下について (例えば以下について (例えば以下について (うち (うち (うち 企業 ) うち 企業 (うち 企 ) うち 企業 (うち 企 ) うち 企業 (うち 企 (うち 企 ) うち 企 (うち 企 ) で (で (で ) で )	三者評価: 日本記載	た実験・実習業 た演習の授業 等と連携した したインター た実験の授業 を連携したしたインター た実際の授業 したは、あった。	・実技の授助・実技の授助の実験である。	受業時数 ※・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 受業時数 の授業時数) (専修学校 (専修学校 (専修学校	での授業時数 の授業時数 の授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	デームページURL 第1号) 第2号) 第3号)	11	- 単位時間 0 単位 2 単位 2 単位 0 単位 1 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等のと連携施大かに記入)	加化成㈱、 ■ 民間の合 ※ 有の場合 (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第で 例えば以下について 例えば以下について 例えば以下について 例えば以下について の情による 第定) 総授業時数 「うち企業 「うち企業 「うち企業 「うち企撃 「うち企撃 「うち企撃 「うち企撃 「で関れている 「で関れている 「でではない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「	三者評価: 日本記載	た実験・実習業 た演習の授業 等と連携した したインター た実験の授業 を連携したしたインター た実際の授業 したは、あった。	・実技の授助・実技の授助の実験である。	受業時数  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実質・変数・大きなできる。 (・実質・変数・大きなできる。)	の授業時数 の授業時数 の授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	デームページURL 第1号) 第3号) 第4号)	11	- 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をのました況 (A、記入) を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記	加化成㈱、 ■ 民間の合 ※ 有の場合 (A:単位 (B:単位	<ul> <li>鹿島建設㈱、富士</li> <li>平価機関等から第で</li> <li>(例えば以下について</li> <li>(例えば以下について</li> <li>(事例えば以下について</li> <li>(事間による算定)</li> <li>(を授業時数</li> <li>(うち企</li> <li>(する)</li>     &lt;</ul>	三者評価: 日本記載	た実験・実習業 た演習の授業 等と連携した したインター た実験の授業 を連携したしたインター た実際の授業 したは、あった。	・実技の授助・実技の授助の実験である。	受業時数  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実質・変数・大きなできる。 (・実質・変数・大きなできる。)	の授業時数 の授業時数 の授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	デームページURL 第1号) 第3号) 第4号)	11	- 単位時間 0 単位 2 単位 2 単位 0 単位 1 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携地で、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	加化成㈱、 ■ 民間の合 ※ 有の場合 (A:単位 (B:単位	鹿島建設㈱、富士 平価機関等から第で 例えば以下について 例えば以下について 例えば以下について 例えば以下について の情による 第定) 総授業時数 「うち企業 「うち企業 「うち企業 「うち企撃 「うち企撃 「うち企撃 「うち企撃 「で関れている 「で関れている 「でではない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「	三者評価: 日本記載	た実験・実習業 た演習の授業 等と連携した したインター た実験の授業 を連携したしたインター た実際の授業 したは、あった。	・実技の授助・実技の授助の実験である。	受業時数  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実習・実技 の授業時数)  (・実質・変数・大きなできる。 (・実質・変数・大きなできる。)	の授業時数 の授業時数 の授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	デームページURL 第1号) 第3号) 第4号)	11	- 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をのました況 (A、記入) を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記 を表現していて記	加化成㈱、 ■ 民間の合、 ※ 有の場。 (A:単位位 (B:単位 [4]	鹿島建設㈱、富士平価機関等から第で例えば以下について (例えば以下について (例えば以下について (例えば以下について (うちな (うちな (うちな (うちな (うちな (うちな (うちな (うちな	三者記載 (	た実験・安と連携したたと実際である。 をと連携とを連携したたとなりである。 をと連携とをできる。 をと連携としたとなりである。 をとをできる。 をとをできる。 をとをできる。 をとをできる。 をとをできる。 をとをできる。 をとをできる。 をとをできる。 をとをできる。 をしたが、またのでは、ま	・実技の扱いの実験での実験である。	受業時数  (東接受 ・ 実 を で まままで を で まままで で まままで で まままで で で まままで で で まままで で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	部 が ボース で	デームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第3号) 第5号)	11	- 単位時間 0 単位 2 単位 2 単位 0 単位 1 人	
学校評価 当該学科のホームのでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 と変では、 と変では、 と変では、 と変では、 にいいでは、 を変がますが、 といいでは、 を変がますが、 といいでは、 を変がますが、 を変がまずが、 を変がまずが、 を変がますが、 を変がまずが、 を変がまが、 を変がまずが、 を変がまが、	加化成㈱、 ■ 民間の合 ※ 有の場合 ・ 語 ・ Mttps://aso	鹿島建設㈱、富士平価機関等から第で例えば以下について (例えば以下について (例えば以下について (例えば以下について (うちな (うちな (うちな (うちな (うちな (うちな (うちな (うちな	三者評価: (年記載)	た実験・実際・実際・変響・大きなでは、大きないでは、大きないでは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	・実技の扱いの実験での実験である。	受業時数  (東接受 ・ 実 を で まままで を で まままで で まままで で まままで で で まままで で で まままで で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の授業時数 の授業時数 の授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	デームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第3号) 第5号)	11	- 単位時間 0 単位 2 単位 2 単位 0 単位 1 人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- 企業、職業人が求める知識・技能に基づき、質の高いより実践的な学習内容とする事を目的とする。

パソコン演習・商業知識を中心とした科目を基軸としてカリキュラムを構成し、企業・団体から 講師派遣を受け、職業人との密接かつ組織的な連携により、実務により近い状態で実情に沿った内容を学習する。特に税務に関わる事が多い経理事務に求められる簿記、税法の知識や、税務処理業務、申告について企業講師の指導を仰ぎ、より実践的な授業内容とする。専門知識外においても、企業講師の授業により、職業人としての自覚と責任感を持ち、周囲をリードする人材となるべく意識を向上させ、地域発展に貢献出来る人材を育成する。また、就職実績先の企業へヒアリングをおこない、結果に基づいて委員会にて内容を検討し、カリキュラムへの反映に活用する。

#### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。委員会は、次の事項を審議し、会議の結果をカリキュラム会議に報告するものとする。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

主任等により主催されるカリキュラム会議は、教育課程編成委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し策定する。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

		令和5年/月	いロ現性
名 前	所 属	任期	種別
江崎 留美子	福岡商工会議所 検定·企業研修担当部長	令和5年4月1日~令和6年3 月31日(1年)	1
谷口 浩司	リコージャパン株式会社 デジタルサービス営業本 部 福岡支社 文教自治体営業部 文教グループ	令和5年4月1日~令和6年3 月31日(1年)	3
辻本 聡	アップスマイル税理士法人 代表社員	令和5年4月1日~令和6年3 月31日(1年)	3
谷口 知幸	中山化成有限会社 代表取締役	令和5年4月1日~令和6年3 月31日(1年)	3
瀧口 博俊	麻生情報ビジネス専門学校 校長	令和5年4月1日~令和6年3 月31日(1年)	_
北原 聡	麻生情報ビジネス専門学校 校長代行	令和5年4月1日~令和6年3 月31日(1年)	_
瀬崎 美佐緒	麻生情報ビジネス専門学校 主任	令和5年4月1日~令和6年3 月31日(1年)	-

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

## (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年7月27日 14:30~16:00

第2回 令和5年3月17日 14:30~16:00

#### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

企業におけるセキュリティ意識・知識の育成と定期的なセキュリティ知識の確認が必要という意見があり、IT授業で入社後も役立つ企業内のセキュリティについて特集する内容を組み込んでテストしている。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

## (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

総合的な人間教育として、深く幅の広い知識と教養を身につけることにより、社会の変化に 対応できる良識とスキルを習得 させる。常に挑戦する意欲に満ちた専門職業人として、社会で中核的役割を果たすに足る専門的な知識や技能を習得させ るべく、企業・業界団体からの意見、アドバイス、要望などを授業内容や授業方法等に取り入れ、より実践的な知識や技能 を就業前に習得する事で即戦力となる人材を育成する。

### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実務において、連携企業講師と授業内容・授業方法等について事前に協議する。給与計算科目は、実際の事務作業の流 れ、給与支給額、控除額の基本的な計算を正しく理解し、所得税や社会保険、労働法の知識を学び演習を行う。評価につ いては、事前に連携企業講師が実施する授業内容に従って、給与、賞与、年末調整について一連の計算に評価項目を設 け、期末試験、授業態度などと併せて総合的に判断し、学習評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
給与計算	事務作業の流れ、給与支給額、控除額の基本的な計算を正しく理解し、所得税や社会保険、労働法の知識なども併せて習得し、給与事務者のごく基本的な知識を学ぶ。	小林憲一税理士事務所

### 3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学校法人麻生塾 教職員研修規程に基づき、教職員に対して研修を行う。

教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得 させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を教職員の業務経験や能力、担当する授業 科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。また、教育課程 編成委員会などの意見を元に作成したカリキュラムを運用するために必要となる知識や技術と教員とのスキルを比較し、不 足しているものを中心に研修計画を立てる。外部の教育機関が実施する研修または企業等から講師を招いての研修を受 講する。

連携企業等:秘書サービス接遇協会

連携企業等:デジタルハリウッド株式会社

#### (2)研修等の実績

## ①専攻分野における実務に関する研修等

秘書サービス接遇協会研究大会 研修名:

期間: 対象: 教員 2023年8月23日(水)~24日(木)

「検定試験の活用と社会性の涵養」をテーマに、事例の共有・ソーシャルスキルトレーニング・リカレント教 内容

育について学び、分科会でディスカッションを行う

## ②指導力の修得・向上のための研修等

ルーブリック評価と能動的な継続学習 研修名:

2022年9月1日(木)15時30分~17時00分 期間: 対象: 教員

学習成果の可視化に有効な評価指標「ルーブリック」の授業タイブ別の作成方法、振り返りシート活用方法について

内容

## (3)研修等の計画

#### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: オデッセイユニバーシティ 連携企業等:株式会社オデッセイコミュニケーションズ

期間: 令和5年10月頃(開講が再開した場合) 対象: 教員

マイクロソフト認定資格MOSのセミナー講演及び最新の資格試験関連の情報提供 内容

### ②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等:全国専門学校教育研究会 授業サポーター養成講座 研修名:

期間: 令和5年11月以降3回実施の予定 対象: リーダー教員

授業の観察や評価、教員のカウンセリングやコーチング、授業改善に関するアドバイスや提言の提供、教 内容

員の授業計画や教材の開発支援等ができる人材『授業改善サポーター』を養成するための講座

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者等、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を 見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた 学校づくりをおこなう。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	運営方針、事業計画、人事·給与規程、業務効率化、他
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5)学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11)国際交流	留学生の受入れ、支援体制

<sup>※(10)</sup>及び(11)については任意記載。

## (3)学校関係者評価結果の活用状況

マナー研修について一定の評価をいただき、企業で必要な授業のマナーについてより実務に沿った内容を接遇授業で入れることは勿論、コロナ禍で継続できていなかった卒業前の社会人研修を復活させ、実施していく。

#### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
増本 光子	情報工学ネットワーク専攻在校生 保護者等	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	保護者等
中園 晴久	平成6年度情報経理科 卒業生	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	地域住民
大山 明	久留米市外三市町高等学校組合立 三井中央高等学校 学校長	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	高等学校 関係者
金富 聡	一般社団法人福岡県情報サービス産業協会 企画調査委員会 委員長 エムアイエフ株式会社 マネージャー	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委 員
前田 真	福岡地域戦略推進協議会 事務局次長	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委 員
馬場 伸一	NPO法人 QUEST 事務局長	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委 員
小林 憲一	小林憲一税理士事務所 所長	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委 員
谷口 浩司	リコージャパン株式会社 デジタルサービス営業本部 福岡支社 文教自治体営業部 文教 グループ	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委 員
菊本 健司	株式会社アルファクス・フード・システム マーケティング営業戦略部 部長	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委 員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: <a href="https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/abcc/2023/hyoka.pdf">https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/abcc/2023/hyoka.pdf</a>

公表時期: 令和5年9月29日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者等、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	TO THE TAX
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、学びのPOINT
(2)各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、資格実績、就職実績
(3)教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生キャンパスライフ
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9)学校評価	自己点検·評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生学べる分野、グローバル教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) · 広報誌等の刊行物 · その他( ))

URL: <a href="https://asojuku.ac.jp/abcc/">https://asojuku.ac.jp/abcc/</a>
公表時期: <a href="https://asojuku.ac.jp/abcc/">https://asojuku.ac.jp/abcc/</a>

# 授業科目等の概要

			・専門課程 ビシ	ジネスエキスパート科)令和5年度											
	分類	Į						授	業フ	方法	場	所	教	員	
	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技			専任		企業等との連携
1	0		商業簿記IA	簿記のしくみを理解する事により、企業の 経営活動を記録・計算し、その結果を財務 諸表によって報告する基礎知識を習得す る。	1 前	90	6	0	Δ		0		0		
2	0		情 報 リ テ ラ シー	コンピュータ内部の基礎知識及び I T社会 の基盤となる情報リテラシーを養う。	1 前	60	4	0	Δ		0		0		
3	0		IT基礎	パソコンの基本構成とその取り扱い、イン ターネットの基本的な仕組みと利用方法を 学ぶ。	1 前	30	2	0	Δ		0			0	
4	0		ビジネスマ ナー	社会人になるにあたって必要となる基本的 なマナー、主に敬語の使い方と電話応対を 実践的に練習し習得する。	1 前	30	2	0	Δ		0		0		
5	0		商業簿記IB	財務担当者に必須の基本知識を身につけ、 中小企業の経理事務を学びながら、日商簿 記3級合格を目指す。	1 後	46	3	0	Δ		0		0		
6	0		接遇	サービス接遇検定の受験対策を通じて、学んできたビジネスマナーを復習すると共に答案練習を行い、合格に足る実力を育成する。	1	18	1	0	Δ		0		0		
7	0		セルノノレセ	社会人になるにあたって必要となる基本的なマナーを習得する。敬語の使い方と電話 応対を実践的に練習し、企業で必要とされ る即戦力を目指す。	۱ - ۱	30	2	0	Δ		0			0	
8	0			ビジネス電話知識 A の合格を目指しながら、社会に必要とされる電話対応のスキルを身に付ける。		30	2	0	Δ		0			0	
9	0		IT技術	I Tパスポートテクノロジ分野の学習を通じて、基礎的なハード・ソフト・ネット ワークの知識を養う。		70	4	0	Δ		0			0	
10	0		IT戦略	I Tパスポートストラテジ分野の学習を通じて、企業のシステム戦略と業務プロセス 改善の知識を学ぶ。		28	1	0	Δ		0		0		
11	0		IT総論	I Tパスポート直前対策として、ストラテジ・マネジメント・テクノロジの各分野から頻出するテーマを集中講義する。		80	5	0	Δ		0			0	
12	0		IT管理	I Tパスポートマネジメント分野の学習を 通じて、プロジェクトマネジメントやサー ビスマネジメントの知識を養う。	1 後	32	2	0	Δ		0			0	

				8専門課程 ビシ	ジネスエキスパート科)令和5年度											
		分類	į						授	後業プ	方法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技		校外		兼任	企業等との連携
13		0		ミュレーショ	グループディスカッション及びプレゼン テーションの実施を通じて、コミュニケー ションスキルを磨いていく。	2 前	30	2	0	Δ		0			0	
14		0		ビ ジネ ス シ ミュレーショ ンB	実際のビジネスの現場のロールプレイングを通じ、ビジネススキルとコミュニケーション力を養う。	2 後	30	2	0	Δ		0			0	
15		0		ミュニケー	グループディスカッションを通じて、自ら の意見をまとめ、ビジネスにおけるコミュ ニケーションを行う知識を育成する。	2 前	30	2	0	4		0		0		
16		0		ビジネス実務	社会人になるための基礎的な知識を総合的 に身に付ける事で、人格形成に役に立つ授 業を目指す。		30	2	0	Δ		0		0		
17	0			給与計算	事務作業の流れ、給与支給額、控除額の基本的な計算を正しく理解し、所得税や社会保険、労働法の知識なども併せて習得し、給与事務者のごく基本的な知識を学ぶ。		30	2	Δ	0		0			0	0
18		0		計算実務	現金出納帳・売上帳・精算表等の作成、入 出金伝票の計算方法、割合・比率・利息計 算・福利計算・年金計算を学ぶ。	2 後	30	2	Δ	0		0			0	
19		0		Excel演 習	マイクロソフト社のExcelを実践的に使いこなせるよう操作技能を習得し、「マイクロソフトオフィススペシャリストExcel」の合格を目指す。	1	90	6	Δ	0		0		0		
20		0		Word演習	マイクロソフト社のWordを実践的に使いこなせるよう操作技能を習得し、「マイクロソフトオフィススペシャリストWord」の合格を目指す。	1	60	4	Δ	0		0		0		
21		0			PowerPointの基本操作習得とスライド作成、アニメーション設定、プレゼンテーションの基礎を学び総合的なスキルを習得し、MOS合格を目指す。		30	2	Δ	0		0		0		
22			0	I Tパスポー ト試験対策	I Tパスポート試験直前の重点対策として 過去問題や模擬試験を解き、解説をおこな う事で合格ラインの知識を養う。		70	4	0	Δ		0			0	
23		0			Excelの応用力を高め、実際に企業で役立つスキルを高めながら、関数やマクロなどの知識と技術を育成する。	2 前	90	6	Δ	0		0		0		
24		0		Word E xpert演 習	「マイクロソフトオフィススペシャリストWordエキスパート」合格を目指し、模擬試験の問題演習を重ねる事で応用力を養う。	2 後	60	4	Δ	0		0		0		

				専門課程 ビシ	ジネスエキスパート科)令和5年度											
	- 1	分類	į						授	業プ	5法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講		実験・実習・実技		校外		兼任	企業等との連携
25		0		Office 活用演習	試験対策後に、仕事に即役立つパソコン活 用スキルに特化した集中講義を行い、ビジ ネスマンに必要とされる活用能力を身に付 ける。	2	30	2	Δ	0		0		0		
26		0		インストラク ション実践	人前で話す力をベースに、第三者に授業を行い、説明する力、説得する力を養い、インストラクターとして即戦力となれるレベルの力を身に付ける。		60	4	Δ	0		0		0		
27		0		戦略的プレゼ ンテーション A	践的なプレセンテーションを身に付け、め  らゆる職種で必要な「話す力」「伝える  力」を総合的にい育成する。		30	2	Δ	0		0		0		
28		0		戦略的プレゼ ンテーション B	た作成と発衣を行い、美際に第二省に評価 を受けることでプレゼンテーションスキル を強化する。	後	26	1	Δ	0		0		0		
29		0			グラフィックソフトの基本操作、基本用語、基本描画ツール、画面構成を学び、写真の加工や図形作成のスキルを身に付ける。	2	60	4	Δ	0		0			0	
30		0			合成写真、ロゴマーク、CDジャケット等を 作成しながら、さらに写真を加工するスキ ルを身に付け、またイラストを描く方法、 図形の編集方法を学ぶ。		60	4	Δ	0		0			0	
31		0		教養IA	国語、読解能力、数学、英語、社会時事知 識を中心とした基本的教養を学習する。	1 前	30	2	0	Δ		0			0	
32		0		教養ⅠB	時事教養や基本的教養を基に、SPI試験、適 性試験などの演習をおこなう。	1 後	30	2	0	Δ		0			0	
33		0		キャリアデザ イン	会社訪問や面接試験を受ける際の事前準備、訪問・面接試験後の振り返りと反省を し、就職試験に向けての準備を行う。	1 後	30	2	0	Δ		0		0		
34		0		GCBI	グローバル化がますます進む社会の中で、 感謝や思いやりをベースに、高い人間力 と、世界で通用するグローバル感覚を持っ た人材を育成する。		16	1	0	Δ		0		0		
35		0		GCBI	国際人として、「夢」と「ビジョン」と 「志」を持ち、仕事に対する高い意識を 持った、世界に貢献できる人材の育成を目 指す。	2 前	16	1	0	Δ		0		0		
36			0	教養Ⅱ	時事教養や基本的教養を基に、SPI試験、適 性試験などの対策を行う	2 前	30	2	0	Δ		0			0	

				専門課程 ビシ	ジネスエキスパート科)令和5年度											
		分類	į						授	業プ	5法	場	所	教	員	
	必修	択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	業時	単位数		演習	実験・実習・実技		校外			企業等との連携
37			0	データベース 演習	A ccessを中心に、データベース構築、設計、カスタマイズに対応できるスキルを身に付ける	2前	60	4	4	0		0		0		
38			0	所得税法	源泉徴収や確定申告の基本的な考え方や確 定申告の仕方、その他税務署への提出書類 作成などの税務処理ができる知識を学ぶ	2 後	30	2	4	0		0			0	
39			0		ネットビジネスにおける基礎知識、ウェブ 制作、マーケティング戦略を学ぶ	2 後	30	2	0	Δ		0			0	
40			0	A I リテラ シー	AI(人工知能)を理解し、活用・判断できる初歩的な知識を身に付ける	2 前	16	1	0	Δ		0		0		
41				営業理論	営業活動全般に関する基本知識、マーケ ティング、顧客対応技術、営業提案力を身 に付ける	FIJ	30	2	0	Δ		0		0		
			合	<u></u>	41	科	目		1	10 (	1708)	単化	立 (	単位	時間	引)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ē
卒業要件:	・学則に定める修業年限以上在学していること ・必修科目と選択科目から学科毎に定められた単位数を修得している こと	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	・学科ごとに指定された講義科目群と演習科目群の中から必要な授業科目を履修する。 ・授業科目は、定めらた年次にそれぞれ履修しなければならない場合がある。 ・必修科目の単位は必ず修得しなければならない。 ・指定された履修年次に単位を修得できなかった必須科目は、原則として、次の学期または学年に再履修しなければならない。□	1 学期の授業期間	15 週

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。